

おはようございます。それぞれの学年が終わろうとしています。この1年を振り返って、今どのような気持ちですか。

しっかりとした目標を持った生活が送れたでしょうか。反省の方が長い生活を送ってしまったでしょうか。前にも言いましたが、それを決めたのは自分です。反省すべき所はしっかり反省して、これからの生活に目を向けましょう。

私が、この1年、皆さんと生活して感じたことは、「まだまだ全力を出し切れていない」、「目的意識が弱い人がまだまだたくさんいる」、「誰かが何かをしてくれるのを待っている」です。

しかし、皆さんは、「やり出したら、頑張れる」し、「チームの足を引っ張るような人が少ない」し、「人の気持ちを分かろうとする優しい気持ちの人が多く」など、私にとって本当に自慢の生徒です。だから高校生活でもっと挑戦して欲しい。もっとできるはずと大きな期待をしています。

今日は、2つのことを話します。

1つ目、何度も言ってきましたが、「何かに夢中になろう!!」ということです。仲間と切磋琢磨して勉強することも大事。行事に仲間と協力しながら精一杯取り組むことも大事。部活動に、成長するという強い気持ちをもって練習に取り組むことも大事だと思う。勉強、行事、部活動、仲間、全て大切なものです。でも、ただ何となく生活しては、どれも得ることはできません。

皆さんは、野球のWBCを見ていますか。昨日、残念ながら日本チームは準決勝で負けてしまいました。日本での一次、二次予選、皆さんも夜遅くまで見た人もいるかもしれません。試合後のヒーローインタビューでは、「あきらめない心」「仲間を信頼する心」「支えてくれている人への感謝の気持ち」が語られます。小さな頃から、野球に真剣に取り組んできた選手たちばかりです。一生懸命やったからこそ、そのことに気づける。一生懸命やったからこそ、本物の言葉として、私たちを感動させるように思います。

「世界一奪還」という大きな目標のもとに戦いましたが、今言ったことの一つでも欠けていたら、準決勝進出はなかったと思います。どの試合も接戦、接戦の連続でした。でも、その接戦を見事に勝ち抜きました。全ての選手の「あきらめない心」「信頼」「感謝」から生まれたものだと思います。

2つ目の話です。

オーストリア出身の心理学者であるアルフレッド・アドラーに関する本を読みました。彼が大切にしているのは3つ。「共感」「信頼」「尊敬」です。自分自身のことというよ

り、周りの人たちとの関係を大切にしているのが分かります。「共感」「信頼」「尊敬」いずれも、相手をプラスに見ています。

それを本物にするには、5つのことが大切だとアドラーは言っています。皆さんに、この5つを意識して、生活して欲しいと思います。

1つ目は「感謝を表明する」。嬉しい時、ありがたいと思った時は、すぐに「ありがとう」と言葉にすると、関係は必ず良くなります。自分では伝わっていると思っても、相手に伝わっていないことは良くあります。学校でも、家でも、言葉で感謝の気持ちを表すように心がけてください。

2つ目は「ヨイ出しをする」。ダメ出しという言葉はよく聞くとおもうのですが、ダメ出しをされて気持ちのいい人はいないと思います。良いところを見つけると、その人への考え方が違ってきます。良いことを言われると嬉しいですね。九州の小学校だと思いますが、「良いことポスト」というのを作って、良いところを見つけたらポストに投函することにしたそうです。みんなが良いことに意識を向けたお陰で、学校の雰囲気はすごく良くなったという報道を見ました。周りの人の良いところを見て生活してください。

3つ目は「聞き上手に徹する」。自分を分かってもらおうと一方的に自分の話をするのは逆効果で、相手の話をしっかり聴くことが、良い人間関係を作ってくれます。自分の何気ない話しであっても、悩み事でも、真剣に話を聞いてくれる人を信頼しませんか。

4つ目は「相手の進歩・成長を認める」。相手がこれまでよりすごいなと感じたら、すぐに認めて、声をかけてあげてください。皆さんも、頑張った自分を褒められると嬉しいと感じるはずです。小さなことでも良いので認めてあげましょう。

5つ目は「失敗を許容する」。新しいことに挑戦する時は、失敗して当たり前。温かい目で見あげよう。すると次に自分が失敗した時には、励ましてくれるかもしれません。

「感謝を表明する」「ヨイ出しをする」「聞き上手に徹する」「相手の進歩・成長を認める」「失敗を許容する」、この5つを意識すれば、きっと素晴らしい生活が送れると思います。本を読んで、みんなに実行して欲しいと思ったので紹介しました。

さあ、4月からは新しい学年が始まります。新1年生も登校して来ます。合格発表で、喜んでいる姿がとても素敵でした。もう一度、目標を見直して、4月には、いきいきした顔で登校してください。高砂南高校の新しい伝統を、みんなで創っていきましょう。